

三洋化成工業株式会社

1. 会社の概要

- (1) 会 員 名：三洋化成工業株式会社
- (2) 所属部会：関西化学部会第1分科会
業 種：一般化学
- (3) 資 本 金：13,051百万円
従業員数：1,246人（単独）
1,766人（連結）
- (4) 営業品目
 - ① 生活・健康産業関連製品：洗剤・洗浄剤用界面活性剤，化粧品原料，高吸水性樹脂，人工腎臓用ポッティング材
 - ② 石油・輸送機産業関連製品：ポリウレタンフォーム原料，自動車内装表皮材用ウレタンビーズ，潤滑油添加剤，水溶性切削油
 - ③ プラスチック産業関連製品：永久帯電防止剤，顔料分散剤，モデル用合成木材，エポキシ樹脂硬化剤
 - ④ 繊維産業関連製品：合成繊維製造用薬剤，人工皮革・合成皮革・ガラス繊維用薬剤，合成繊維用改質剤
 - ⑤ 情報・電気電子産業関連製品：トナーバインダー，アルミ電解コンデンサ用電解液，電気二重層キャパシタ用電解液，UV・EB硬化樹脂，半導体加工用薬剤，光酸発生剤
 - ⑥ 環境・住設産業関連製品：廃水処理用高分子凝集剤，ポリウレタン断熱材原料，反応性ホットメルト接着剤
- (5) 会社の沿革と企業理念

当社は、1949年に三洋油脂工業株式会社として創業した。1963年に社名を三洋化成工業株式会社に変更し、現在に至っている。

以下の1～6を企業理念としている。

1. 社は「企業を通じてより良い社会を建設しよう」の精神を諸施策の基本とする。
 2. 「グローバルに、ユニークな優良企業グループ」を実現するために全員がチャレンジする。
 3. 「“人”中心の経営」の進化を推進し、「人と組織の活性化」を図る。
 4. コンプライアンスと企業の社会的責任を肝に銘じ行動する。
 5. 安全の徹底とともに社会と自然環境との調和を図る。
 6. 積極的な研究開発による革新技術を生み続ける。
- (6) CIマーク



2. 知的財産部門の概要

(1) 組織上の位置および名称

研究部門は、事業研究本部、開発研究本部と研究スタッフ部署からなる研究業務本部とで構成されており、知的財産部は、研究業務本部に属している。

(2) 構成および人員

知的財産部は13名（うち弁理士1名）で、特許出願、審査請求とその後の対応、成立特許の維持・管理等、特許および情報検索、研究各部署の特許網構築の援助などの業務を行っている。

(3) 沿革

1973年に、法務部特許課として発足。1975年に研究部門に移管され、1988年に特許部となっ

本文の複製、転載、改変、再配布を禁止します。

た。1995年には法務部と合体して総合事務本部法務・知的所有権部となったが、1997年に開発品の特許対策強化のため法務部と分離、独立して研究本部知的所有権部となった。2005年に研究業務本部知的所有権部、2008年に研究業務本部知的財産部に改称され現在に至っている。

3. わが社の知的財産活動

(1) 基本方針

基本方針として「知的財産の蓄積と活用」を掲げ、独自の特許指標で管理している。以下に代表的な指標を挙げる。

① 特許カバー製品売上高比率

特許カバー製品比率は、特許で保護されている製品売上高の全製品売上高に対する比率である。特許カバー製品の利益率は非カバー品に比べて高いため特許カバー製品売上高比率のアップが利益の増加につながる。当面の目標を50%に置いて活動している。

② 将来品（当該年度の新規開発品）特願比率

新規開発品については、カバーする特許を出願している開発品の売上高見込みの、新規開発品の総売上高見込みに対する比率で管理し、オリジナリティのある製品を開発しているかどうかの指標とする。

(2) 研究部門と知財部との連携

当社の各研究部は数人単位のリサーチユニットに分かれている。年度初めにはリサーチユニット単位で特許の年間出願計画を提出し、イントラネットで公開している。知的財産部は各研究部の出願計画をフォローしている。

特許明細書の作成は発明者が主体となっており、知的財産部員がそれを援助しつつ明細書を仕上げる方式をとっている。

(3) 特許出願、登録の推進策

出願、登録に対する研究員のモチベーションアップ策として、出願報奨、登録報奨、実施報奨の実施に加え以下のような施策で特許意識の

高揚を図っている。

① インベンターオブザイヤーの選定

毎年1名優秀な発明をした研究者をインベンターオブザイヤーとして選定し、写真入の表彰状を研究所玄関に5年間掲示してその発明を讃える。

② インベンションフェストの開催

1年に1回インベンションフェスト(発明祭)を開催。社長も出席のもと、インベンターオブザイヤーを含む優秀発明数件の発明者から発明の苦労話やエピソードを発表してもらい、発明者たちをねぎらう。

③ 特許取得上位者の氏名を掲示

各人の入社以来の特許登録件数を発明者個人ごとにカウントし、登録件数の多い順に氏名を研究所玄関に掲示している。

特許取得上位者掲示板

4. 今後の計画

企業理念の欄で述べたように「積極的な研究開発による革新技術を生み続ける」ことを旨としている。中期経営計画の中で重要なアイテムを「戦略的開発品」として位置づけており、これらはアイテム毎に特許網を構築してグローバルな特許戦略を組み立てていく必要がある。知的財産部は戦略的開発品の売上及び利益拡大を特許戦略面からバックアップしていく責務があり、これを確実に果たして行きたい。

(原稿受領日 2011年11月9日)